

一般社団法人 おおさき青年会議所

2022年度 会員拡大広報委員会基本方針

会員拡大広報委員会 委員長 後藤 拓也

1. 基本方針

おおさき青年会議所は2015年から緩やかに会員が減少傾向にありましたが、2019年に拡大手法を見直し実行することで会員拡大褒章を受章するまでに至りました。会員拡大の成功は、運動発信の強化につながり、このおおさきの地が明るい豊かな社会となる原動力になります。会の未来を見据えて統率のとれた会員拡大運動を能動的に起こす必要があります。

まずは、会員数を60名以上に拡大するために、2019年の会員拡大成功事例を踏襲し、会員拡大の旗手として拡大運動への全会員の参加を促し、前年度から引き継いだ会員候補者リストを本年度に合わせ最新化し、会員拡大の進捗の徹底管理と共有を図ることで、目標に向けた会員拡大運動がより強いものになります。そして、会員候補者を含めた地域住民の方に青年会議所の存在意義と魅力を広く周知するために、各種媒体を用いて強く広報発信をすることで、広報活動の面からも会員拡大運動を推進します。さらに、会員候補者に対して入会を促すために、おおさき青年会議所が地域の次代を担う青年と交流する場を設けることで、会員候補者の会への理解を助け、入会への関心と意欲が高まります。また、新入会員の定着を図るために、入会を祝い歓迎を表する入会式を実施することで、新入会員に会員としての自覚が生まれ、おおさき青年会議所への帰属意識が醸成されます。

青年会議所の活性度合いのひとつは会員数にて測られます。会員拡大広報委員会は、会員拡大運動と広報活動を通じて地域の青年との架け橋役となり、入会後の会員意識の醸成も運動の一端と位置づけ、会の活性化に寄与します。地域のビジョンの実現に向かい、会員数が100名、200名となる未来への足掛かりとして、本年度おおさき青年会議所を60名以上の会員数にします。

2. 事業計画

(1) 会員拡大運動の推進と管理

【目的】

会員数を60名に拡大する

【手段・方法】

- ①会員拡大運動の推進
- ②会員候補者毎の進捗状況の管理と共有

(2) 会員候補者に向けたおおさき青年会議所のPR活動

【目的】

対外へ会の存在意義と魅力の周知

【手段・方法】

- ①各種広報媒体を用いた広報発信
- ②入会ツールの作成

(3) 会員候補者との交流事業の実施

【目的】

会員候補者の入会を促す

【手段・方法】

会員と地域の青年が交流する場を設ける

(4) 入会式の実施

【目的】

新入会員の会への定着を図る

【手段・方法】

入会式を実施する

(5) 例会主管（3月、10月）

【目的】

- ①会員候補者の入会を促す
- ②新入会員の会への定着を図る

【手段・方法】

- ①会員と地域の青年が交流する場を設ける
- ②入会式を実施する